

サステナピースレポート 2021

対象期間

2021年9月1日～

2022年8月31日

発行日

2022年10月28日



CONTENTS

CHAPTER 1	TOP MESSAGE
2	平和建設のMission
3	環境経営方針
4	平和インテグリティ
5	組織の概要
6	環境経営システム
7	主な環境負荷の実績
8	環境経営計画の取組結果
9	その他の取組
10	施工実績のご紹介
11	総括
12	おわりに

1

TOP MESSAGE

代表者からのご挨拶

200年企業を目指して

平和建設は1882年に岡田組として創業しました。200年企業になるために、あと60年余りの年月が必要です。2082年がどのような世界になっているのか、予想が付きませんが、はっきり言えることが一つあります。それは、日々変化している地球環境に適応する力を持つ事が、事業継続の大前提だということです。そして、エコピープル社員100%を目指すことは、組織の適応力増強に繋がって行きます。また、サステナピースレポート発行もその適応力を高めるための経営ツールの一つと考えています。

日々刻々と変化している環境に対応するため、平和インテグリティ教育の推進や、レジリエンス認証取得、そしてビジネスモデル再構築や事業継承計画等々、多くの経営課題を一つひとつ確実に実行していくことが、200年企業を目指して進むための唯一の道であると信じて、日々努力をしております。



代表取締役
岡田 吉弘

2⁻¹

平和建設のMission

経営理念

お客様、福祉化社会に貢献する

～お客様の夢をカタチに～

私たちは、土木工事や建築工事を行う中で、お客様の要望やご意見を聞きながら、お客様の夢をカタチにしていけます。

地域密着を重視し、地域社会のお客様や地元協力事業と安全と環境に配慮した暮らし作りを行い、建設業を通じて、お客様、福祉化社会に貢献します。

社員、家族の幸福を実現する

～みんなの夢がカタチに～

私たちは、社員、家族の幸福を実現する為に、その原資となる適正な利益の追求・技術力の向上・暮らしの安定・体の健康・働きやすい職場作りに日々取り組み、平和建設で働くみんなの夢がカタチになる会社を実現します。

2⁻²

平和建設のVision

Missionを果たすことで得られる姿

1.お客様、地域社会の姿

- ・安心して生活のできる地域社会
- ・お客様の発展に貢献
- ・歴史や文化の維持と次の世代へつないでいく

2.社員の姿

- ・お客様や社会に貢献できる技術の取得
- ・社内ではお互いが技術力向上のために刺激し合い、お互いを尊重し、助け合う
- ・家庭との両立だけでなく社会活動への参加

3.組織の姿

- ・地域社会のニーズや環境の変化に柔軟に対処できる組織
- ・200年企業
(地域とともに成長し、持続可能な組織)

3

環境に関する基本方針

環境に対する取り組みの指針

環境理念

平和建設株式会社は、自然資本を活用した循環型社会の構築に貢献します。
～For the Natural Capitalism～

環境経営方針

平和建設株式会社は、事業活動を行うことが、環境へ重大な影響を与えることを認識するとともに、持続可能な経済社会を形成することが不可欠と確信しています。

社員一人一人が問題意識を持って行動し、地球環境の保全及び地域社会への貢献を目指すべく環境経営システムを構築し、実施・運用、継続的改善を行うことを目的に、以下の活動方針を定めます。

1. 建設業を通して、環境への影響を考慮し、環境保全・地域社会との調和・共生をはかります。
 - ・地球環境保全に役立つ商品の開発・販売促進に取り組みます。
 - ・環境活動レポートの公表、自治体活動等に積極的に参加して地域社会との共生をはかります。
2. 環境に関連する法規制等を特定し遵守します。
3. 事業活動に伴うゴミの削減と二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量、化学物質について自主管理をしながら削減に取り組みます。
4. 事業活動に伴って発生する副産物の抑制とリサイクルの推進に努めます。
5. 全社員が環境へ配慮した事業活動に取り組むよう努めます。
6. 環境経営方針の周知及び公開
 - ・本方針を全社員に周知徹底します。
 - ・本方針を一般の方よりの要請に基づき、又、当社のホームページ上に公開します。

制定日：2017年 9月 1日

改定日：2022年 9月 1日

代表取締役 岡田 吉弘

4

平和インテグリティ

誠実な行動指針とSDGs



平和インテグリティを大事にしています

インテグリティ=誠実さ

インテグリティとは「誠実性」を意味しています。

平和建設は、関係者の方により深く信頼していただける会社になりたいという思いから
平和インテグリティを作成しました。

誠実とは？

他人に対しても自分に対しても嘘をつかない

悪意のある嘘や他人に不利益になるような嘘はつかない

公平さを大切にする

誰に対しても公平に接する

真面目に取り組む

一見当たり前だが、とても難しいこと
私利私欲を捨てる

他人の心情を察した行動ができる

自分の考えと相手も考えをミックスさせて双方納得できる解決策を見出すことができる



Integrity **1** お客様・社会に対する
平和インテグリティ



お客様満足の上

お客様との対話を十分に行い、お客様との信頼関係を築きます。

周辺住民への配慮

着工前と完了時の挨拶を実行し、工事期間中も気配りを怠らず対応します。

Integrity **2** 協力会社・取引先に対する
平和インテグリティ



取引先満足の上

対等な立場で接し、取り決め事項の遵守とスムーズな現場の運営のために共通認識のもとで作業します。

お互いの業務範囲・責任範囲・顧客要求事項を見積書及び注文書にて明確にした上で契約発注します。

Integrity **3** 会社から社員への
平和インテグリティ



社員満足の上

社員一人ひとりの個性を尊重し、能力を適切に評価します。

社員の声に耳を傾け対話による「知」の創造を図ります

お互いの立場に配慮した言動と信頼の気持ちで日々接し、活気ある職場環境を作ります。

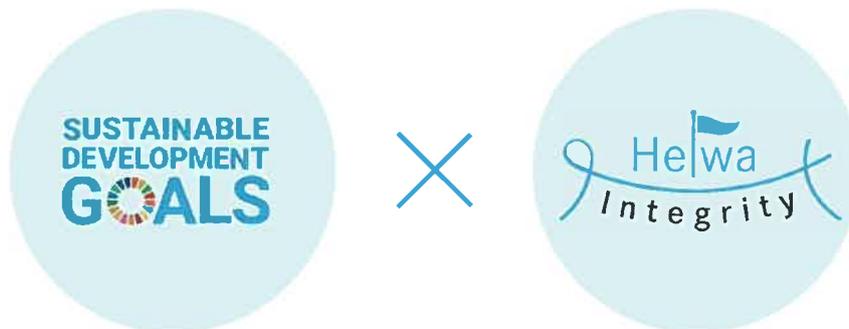
Integrity **4** 社員全体の
平和インテグリティ



平和インテグリティ基本方針

平和建設は、関係するすべての人々に対して常に感謝の気持ちを忘れず、誠実に仕事をします。

平和建設の一員であるという自覚と誇りを持ち社会人としての協調性を大切にします。



平和インテグリティは、平和建設が事業を行っていく上で、普遍的な内容であり、SDGsで定められた目標にも関連する基準があります。本行動指針に基づいた取組を、私たち一人ひとりが着実に取り組むことで、SDGsの取組に貢献して参ります。

5

組織の概要

会社概要等

- | | | |
|------------|--|------------------|
| 1. 名称 | 平和建設株式会社 | |
| 代表者名 | 代表取締役 | 岡田 吉弘 |
| | 代表取締役常務 | 岡田 一真 |
| 2. 所在地 | 本社：広島県福山市川口町1丁目16-35
JFE福山事業所：広島県福山市鋼管町1番地
三菱電機事業所：広島県福山市御門町3丁目5-22 田村ビル2F | |
| 3. 環境管理責任者 | 代表取締役常務 | 岡田 一真 |
| 担当者 | サステイナブル事業部 | 三好 清人 |
| 連絡先 | TEL：084-953-2711 | FAX：084-954-3783 |
| 4. 事業内容 | 総合建設業(土木・建築)
総合設計業(企画・構造・監理)
宅地建物取引業 | |
| 5. 事業の規模 | 資本金 | 3,000万円 |
| | 売上高(73期) | 1,777百万円 |
| | 従業員数 | 40人 |
| | 敷地面積 | 5,069.42㎡ |
| | 事務所延床面積 | 523.8㎡ |
| 6. 事業年度 | 9月1日～翌8月31日 | |

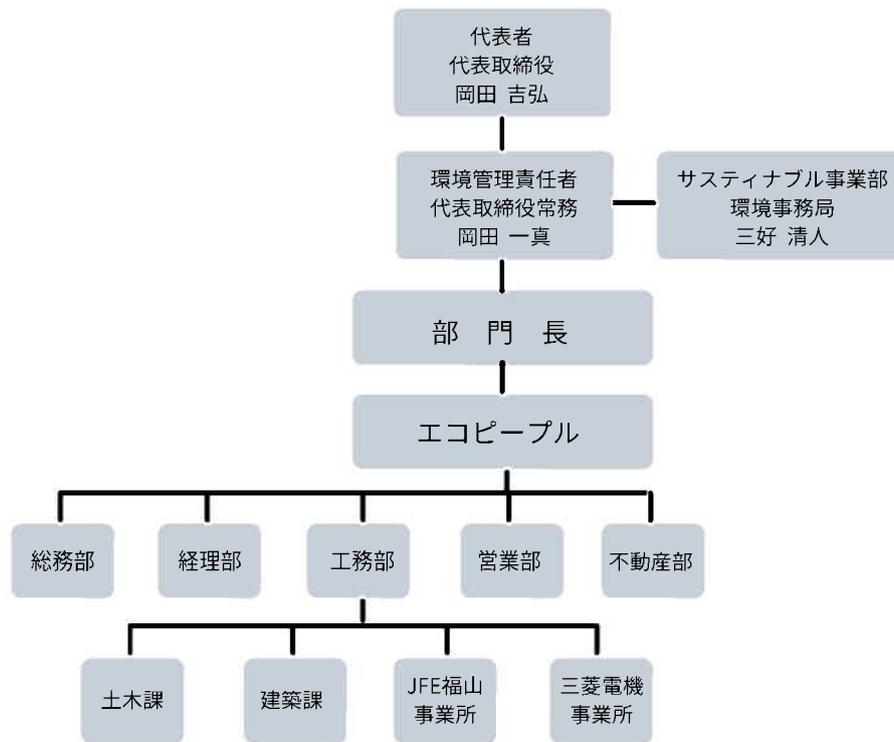
認証・登録の対象組織・活動

- ・登録組織名 平和建設株式会社
本社・JFE福山事業所・三菱電機事業所
- ・活動内容 総合建設業

6

環境経営システム

環境組織図、おもな役割・責任・権限



おもな役割・責任・権限

代表者
代表取締役
岡田 吉弘

- ・環境経営に関する統括責任
- ・環境経営システムを適切に実施するための資源の準備
- ・全体の評価と見直し・指示の実施

部門長

- ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施及び記録の作成
- ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告

環境管理責任者
代表取締役常務
岡田 一真

- ・環境経営システムの全体的な構築・実施・管理の責任
- ・環境経営目標・環境経営計画の確認
- ・環境関連法規等の取りまとめ

※**エコピープル**

- ・部門長の補佐
- ・現場責任者の補佐
- ・環境活動データの収集及び報告

サステイナブル事業部
(環境事務局)
三好 清人

- ・環境管理責任者の補佐
- ・環境活動の実績の集計
- ・環境経営レポートの作成

全従業員

- ・環境経営方針・環境活動方針の理解、環境への取組の重要性の自覚
- ・自主的・積極的に環境活動へ参加

※エコピープルについては、P.21をチェック！

7

主な環境負荷の実績

省エネへの取り組み

	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	95,065	139,395	116,685
一般廃棄物排出量 (t)	8.4	8.4	8.4
産業廃棄物排出量 (t)	959	1,926	3,073
総排水量 (m ³)	601	840	926

		2020年度 基準値	目標	2021年度 実績	達成 状況	2022年度 目標	2023年度 目標
電力による CO2削減	kWh 基準年比	103,562 —	102,526 99%	81,689 79%	○	101,491 98%	100,455 97%
都市ガスによる CO2削減	m ³ 基準年比	11 —	10 99%	6 55%	○	11 98%	11 97%
ガソリンによる CO2削減	L 基準年比	21,213 —	21,000 99%	21,434 101%	×	20,789 98%	20,577 97%
軽油による CO2削減	L 基準年比	15,909 —	15,749 99%	6,376 40%	○	15,591 98%	15,432 97%
上記CO2排出量 合計	kg-CO2 基準年比	139,395 —	138,001 99%	116,685 73%	○	136,607 98%	135,213 97%
水道水削減	m ³ 基準年比	864 —	831 99%	926 107%	×	847 98%	838 97%
一般廃棄物 削減	t 基準年比	8 —	8 99%	8 100%	○	8 98%	8 97%
産業廃棄物 削減	t 基準年比	1,926 —	1,906 99%	3,073 161%	×	1,887 98%	1,868 97%
化学物質	行動目標(詳細は次項)						
緑化区域整備	行動目標(詳細は次項)						
クリーン青葉会	行動目標(詳細は次項)						
広島県 アダプト活動	行動目標(詳細は次項)						
社員教育	行動目標(詳細は次項)						

8

環境経営計画への取組結果

各目標の具体的な取り組みについて

TARGET

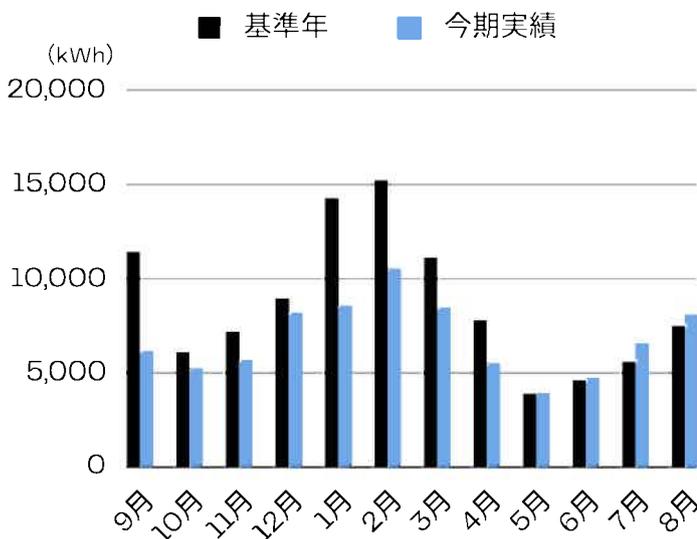
1 電力使用によるCO2排出量削減

コロナ禍により換気を強化したことや、事務所内の不要照明の消し忘れがあったことにより、事務所での電力使用量は増加しましたが、冬季に現場事務所を構えて行う工事が昨年より少なかったことで、現場での電力使用量は大幅に減少し、累計での電力使用量も減少しました。昨年度末に事務所内トイレに人感センサー付きの照明を導入したことで、トイレの電気の消し忘れなどは防止できるものの、事務作業スペースでの電気の消し忘れが多くあるので、掲示物などによる不要照明の消灯の呼びかけを行っていきます。



人感センサー付照明の導入

数値目標と実績



※電力排出係数は中国電力2017年度調整後排出係数 0.677kg-CO2/kWhを使用

103,562 kWh
基準年

82,177 kWh
実績

基準年比

79%

達成状況



活動：○…よくできた △…あと一歩 ×…がんばろう

次年度の取組

各自の服装などで夏季、冬季の空調温度が適正になるよう呼び掛けたり、事務作業スペースの不要照明の消し忘れが無いよう、掲示物などによる呼びかけを行ったりすることで電力使用量の削減に努めていきます。

取組計画	達成状況
空調温度の適正化	○
不要照明の消灯	△
ノー残業デーの実施	○

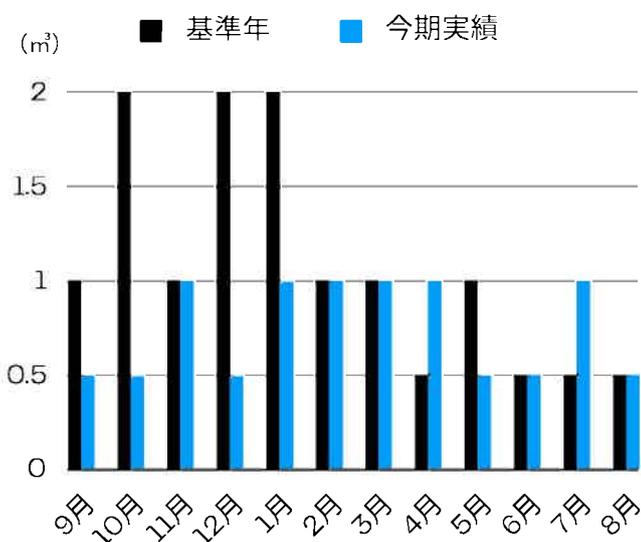
2 都市ガス使用によるCO2排出量削減

冬季の給湯器の使用により、単月では目標を達成できなかった月もありましたが、その他の月は各自が給湯器の温度の適正化が図れたことや、来客者へのお茶くみの機会もあまりなかったことから、都市ガス使用量も約半分程度にまで抑えることができました。また、2020年度よりIHコンロを導入したことも、都市ガス使用量削減に繋がっている理由だと考えられます。



IHコンロの導入

数値目標と実績 ▶▶▶



11 m ³ 基準年	6 m ³ 実績
基準年比 55%	達成状況 ○

活動：○…よくできた △…あと一步 ×…がんばろう

次年度の取組 ▶▶▶

次年度も変わらず、各自で給湯器の温度の適正化に努めてもらうよう呼びかけを行い、都市ガス使用量の削減に努めてまいります。

取組計画	達成状況
温水温度の適温化	○
給湯器の適正使用	○

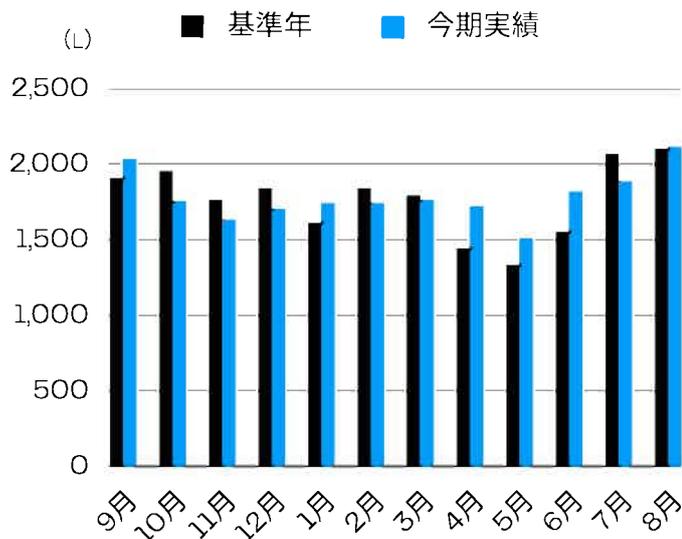
3 ガソリン使用によるCO2排出量削減

今期は、会社から25km以上離れた遠方の現場が多くありました。その影響もあってか、微々たるものではあるもののガソリン使用量が増加しました。しかし、打ち合わせや現場に行く際に各自が乗り合わせて行ったことで、ガソリン使用量の削減に繋がったのだと思います。その他にも、直近の原油価格の高騰が原因で、ガソリンの値段も上昇しているため、「なるべくガソリンを使いたくない」といった心理が働いたことも、ガソリン使用量削減に繋がった理由の1つだと考えています。



低燃費車の選択

数値目標と実績 ▶▶▶



次年度の取組 ▶▶▶

今後も、打ち合わせや現場に行く際に可能な限り乗り合わせて行くことや、各自のエコドライブ意識遂行によるガソリン使用量削減に取り組んで参ります。また、社用車を買替える際は、ハイブリット車や低燃費車を選択します。

21,213 L 基準年	21,434 L 実績
基準年比 101%	達成状況 ×

活動：○…よくできた △…あと一歩 ×…がんばろう

取組計画	達成状況
アイドリングストップ実施	○
低燃費車の推進	△
エコドライブの推進	○

4

軽油使用によるCO2排出量削減

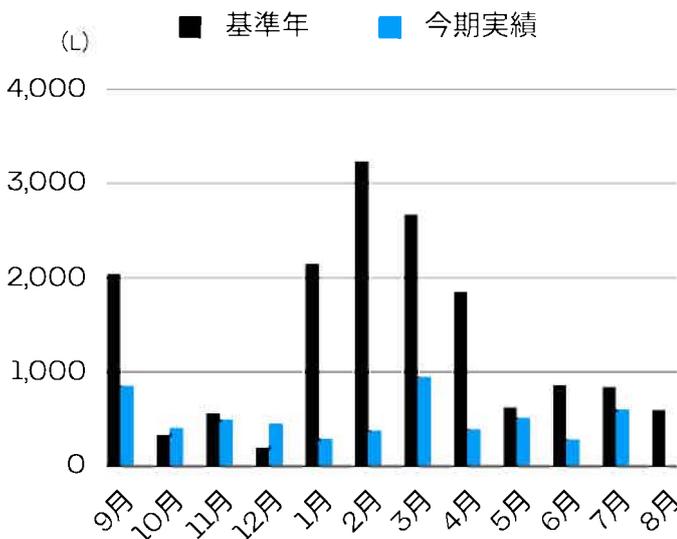
今期は、建設機械を多く使用する工事が昨期より少なかったため、軽油使用量が半分以上にまで減少しました。その他にも、ダンプのアイドリングストップ機能や、各自のエコドライブ意識、建設機械の省エネ運転も、軽油使用量の削減達成に貢献していると考えています。

また、社用車の点検も毎月1回は必ず行っています。点検をしっかりとすることで、オイル交換、エレメント交換も適切に行えるので、事故などの交通災害の防止や、車の長寿命化にもつながると考えています。



アイドリングストップ機能付きダンプ

数値目標と実績 ▶▶▶



15,909 L 基準年	6,376 L 実績
基準年比 40%	達成状況 ○

次年度の取組 ▶▶▶

今後も建機の省エネ運転の実施や、アイドリングストップの推進などにより、少しずつでも着実に軽油使用量削減に取り組んで参ります。

活動：○…よくできた △…あと一歩 ×…がんばろう

取組計画	達成状況
低燃費・低炭素建機の推進	○
アイドリングストップの推進	△
建機の省エネ運転実施	○

5 水道水使用量削減

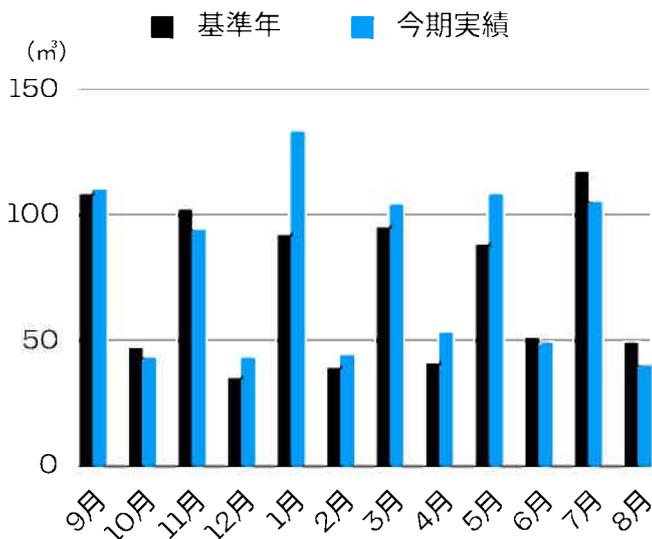
今期は、事務所内での水使用量の削減は達成できたものの、現場での水使用量が大幅に増加し、累計での水使用量も増加しました。

事務所での水使用量が削減できた要因としては、昨期末に行ったトイレ改修の際に、大便器を2つから1つに減らしたことや、節水トイレを導入したことなどが、水使用量の削減に繋がったのだと考えられます。その他にも、トイレ横の手洗器を、節水泡沫器付きの物に変更したことで、一度に流れる水の量が減少するため、これも水使用量削減に繋がった理由だと考えています。



節水トイレの導入

数値目標と実績 ▶▶▶



864 m ³ 基準年	926 m ³ 実績
基準年比 107%	達成状況 ×

活動：○…よくできた △…あと一步 ×…がんばろう

次年度の取組 ▶▶▶

社用車を洗車する際は、水の使用量を最低限に抑える工夫をしたり、現場で道具を洗う際は、バケツに水をためて洗うなどの工夫を各自で行ってもらうよう呼びかけを実施し、水使用量の削減に取り組んでまいります。

取組計画	達成状況
節水ポスターの掲示	○
不要な洗い物を避ける	△

一般廃棄物削減

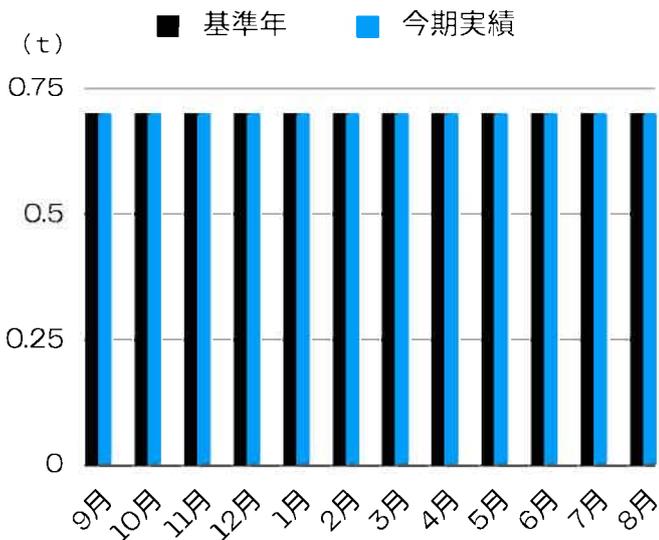
昨年末にトイレの改修を行った際に、新しくジェットタオルを2台導入しました。それまで使用していたペーパータオルを廃止したため、一般廃棄物の削減に繋がります。

その他にも、印刷物の両面印刷により、そもそもの紙の使用量を減らしたり、片面印刷の物については裏紙としてリユースすることで紙のゴミの排出量削減を図っています。



ジェットタオルの導入

数値目標と実績 ▶▶▶



8.4 t 基準年	8.4 t 実績
基準年比 100%	達成状況 ○

次年度の取組 ▶▶▶

今後も、社内文書の裏紙使用、両面印刷、印刷物の集約を実施し、無駄な印刷が無いよう、またゴミの削減に取り組んで参ります。

活動：○…よくできた △…あと一步 ×…がんばろう

取組計画	達成状況
裏紙使用・再生紙使用	○
帳票見直しによる印刷物の削減	△
両面印刷・集約の実施	○

産業廃棄物削減

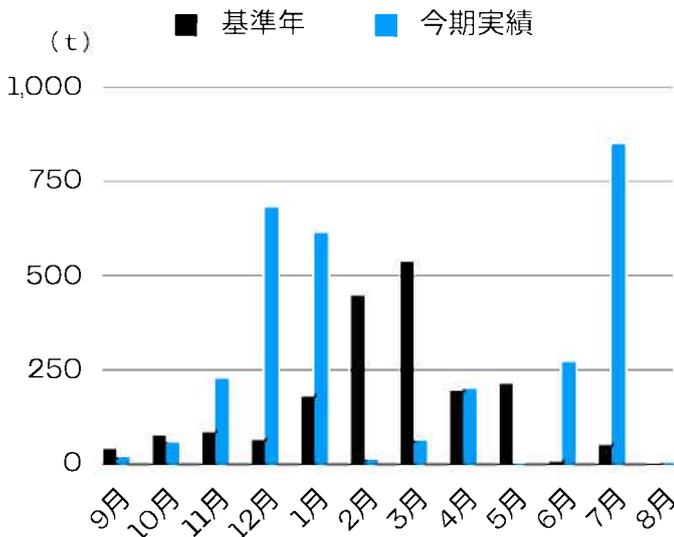
今期は主にコンクリートがら、アスコンがら、建設汚泥の排出量が多くありました。その他にも木くずやその他がれき類など、複数の項目で基準年の排出量を上回っていました。その要因としては、土地の改良・造成工事や、人工地盤の解体工事、その他の大規模な工事の受注数が基準年より増加したことに比例して産業廃棄物の排出量増加したのだと考えられます。

しかし、適切な産廃処理業者の選定や、各自の分別管理の徹底により、今期輩出した産業廃棄物のリサイクル率は、約99%でした。



分別BOXの設置

数値目標と実績 ▶▶▶



1,903 ^t 基準年	3,073 ^t 実績
基準年比 161%	達成状況 ×

次年度の取組 ▶▶▶

引き続き適切な産廃処理業者の選定を行ったり、各自の分別意識を徹底することで、産廃のリサイクル率を向上させるとともに、使えそうな資材は加工したりして再利用するなど、産廃の排出量自体を抑える工夫も行っていきます。

活動：○…よくできた △…あと一步 ×…がんばろう

取組計画	達成状況
作業ミス削減による 廃棄物排出抑制	○
廃材の再利用化	△
産廃の分別管理の徹底	○

化学物質

塗料・溶剤などの適正管理

塗料や溶剤を使用する際は、保護メガネや手袋、マスクの着用を義務付けています。また、「SDS(安全データシート)」の管理の徹底や、材料ラベルに表示されている危険性・有害性を表す絵表示を確認し、十分に理解した上で作業に取り組んでいます。

次年度からも、製品の購入量の適正化や、作業ミスによる化学物質使用量の増加の抑制に努めていきます。



緑化区域整備

会社正面の花壇の整理



会社正面のお客様駐車場のスペースに芝桜などが植えられている花壇があります。

芝桜の他にも、当社所在地の広島県福山市の市花にも制定されているバラの花や、一定の角度から見るとハートの形に見える木も植えられています。ハートの木は、専門の庭師の方をお願いして剪定していただいている、こだわりの木なんですよ！

次年度以降も、来社されるお客様が少しでも和やかな気持ちになって頂けるよう、花壇の整備に取り組んでまいります。



クリーン青葉会

～建設業の腕を使って、持続可能にできること～

平和建設では、クリーン青葉会という資源回収を行うボランティアグループと連携し、地域活動の支援として2tダンプの提供と、空き缶や古紙、ダンボールの回収、運搬をお手伝いしています。

クリーン青葉会様には、元気な人手もある、分別するスペースもあるものの、分別したものをリサイクル業者へ運搬する手段が無い、ということでご相談いただきました。平和建設には運搬に必要なトラックもあり、運転手もいるため、平和建設なら力になれる、と思いこの活動を始め、もう20年以上になります。

地域の皆様のお宅から回収してくる大量の新聞紙や雑誌、ダンボールは、軽トラ2台と2tダンプの計3台がてんこ盛りになります。

これからも重いものを持って運ぶ作業が続くので、ケガなどしないように、また、リサイクル業者様へ運搬する途中に事故などないように十分気を付けて、この活動に取り組んでまいります。



広島県アダプト活動

平和建設では、2012年度より、3か月に一度、県道松浜線の清掃活動を行っています。普段、車の交通量も多く、歩行者、自転車の方もたくさん利用される道路です。

この活動ではおもに歩道脇に生えている草をとったり、落ち葉などを集めて綺麗にしています。この活動を継続させることは、道路の視認性向上による交通事故の防止や、草とり、清掃による道路の長寿命化にもつながると考えています。

平和建設には、清掃活動に必要な道具もあり、人手もあります。なので、この活動を自分たちのペースで着実に行っていくことが、持続可能な活動になるのだと考えています。

これからも作業中の事故などないように気を付けながら活動に取り組んでまいります。



12 広瀬学園廃材提供

平和建設は今年度より、福山市立広瀬学園小・中学校へ、廃材の提供を行っています。

広瀬学園は、標高約400メートルの自然豊かな地域に位置しています。その豊かな自然環境を教材にした、『広瀬タイム』では、学校裏の土地を使い教材を超えた学びの時間として、「ひろせDASH!村プロジェクト」と「ひろせ未来プロジェクト」という課題解決学習を行っています。その「ひろせDASH!村プロジェクト」では、木の廃材を使って小屋をつくったり、簡単な遊具をつくったりと、様々な活動を行っています。

平和建設では、工事に伴って出た処分する予定の木の廃材を提供したり、ノコギリや金槌の使い方などの技術指導を行ったりしています。他の地域貢献活動と同じく、平和建設には、『広瀬タイム』で必要な木の廃材もあり、それを運搬するトラックも運転手もいるため、力になれると思います、この活動を始めました。

次年度以降も、廃材の提供や技術指導を行っていくとともに、平和建設で取り組んでいる持続可能な環境経営と紐づいた取組も行っていきたいと考えております。



13 地域夜間保安活動



平和建設の周辺は街灯の少ない住宅街なので、夜になるととても暗くなります。

あるとき、地域の方と社長が話している際に、「夜に散歩する時暗くて怖いから平和建設の前を避けて遠回りしている。本当は平和建設の前を通りたいんだけど、怖くて通れない。」との声。確かに、平和建設の周辺の道路には、深い溝があるので落ちて怪我したり、暗いと犯罪が起きやすいため、何か犯罪に巻き込まれるかもしれません。何かあってからでは遅いと思い、会社周辺に街灯を設置しました。

今後も、地域の皆様が安心して暮らせる川口町にするため、近隣住民の方の要請に応じて、徐々に街灯の数も増やしていく予定です。



昼間



夜間

14 社員教育

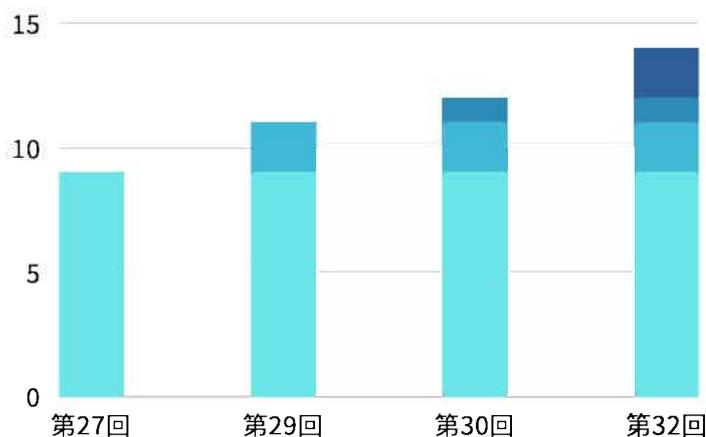
エコ検定取得

世界的に環境意識が高まっている中、多くの製品や、サービスが環境を意識したものへ変わってきています。その中で、ビジネスと環境の相関を的確に説明できる人材の育成は欠かせないものとなってきています。エコ検定は、ビジネスシーンにおけるキャリアアップだけでなく、生活者として健康的で安全な暮らしを送るために、社会の様々な場面で役立つ検定試験です。

平和建設でも、環境に配慮し、環境汚染の低減や環境保全のための活動に努め、一人一人が地球環境の保全や地域社会へ貢献することを目的に、2019年12月からエコ検定の受験を推進しています。



エコ検定合格者(エコピープル)の推移 ▶▶▶



第27回・・・9名

第29回・・・2名

第30回・・・1名

第32回・・・2名

社員の
エコピープル率
約 30%!

エコピープルとは・・・

東京商工会議所が主催する「環境社会検定試験(通称：エコ検定)」合格者に与えられる呼称です。平和建設の社員は、エコ検定に合格すると「エコ委員会」に入り、より積極的に環境についての取組を行います。平和建設のエコピープルは各部門にいるため、部門を越えて活動できるのが強みです。

ちょこっと
コラム

エコ検定推進企業に掲載されています！

東京商工会議所のエコ検定のホームページに、エコ検定推進企業が紹介されています。

エコ検定推進企業とは、自社でエコ検定の取得に使らを入れている企業のことです。

掲載されている企業様の環境経営レポート等も見ることができますよ！



会社名をクリックするとレポートを見ることができます！

各種社内研修の実施

新入・若手社員合同研修

今年4月に、新入・若手社員合同研修を実施しました。この研修では、「ライフステージと働く目的」や、「私たちの会社の価値と仕事の意味付け」、「EQ(行動特性の分析と課題)」などについて講師の方よりお話し頂いたり、グループで課題解決学習を行ったりしました。

今回の研修を受けた社員からは、「今行っている業務に自分自身がどのような意味づけをするかによって、モチベーションも達成感も全て変わる、ということを知ったので、何気なく行っている業務にも自分なりに意味づけをしていこうと思います。」といった声や、「講師の先生の話が上手で聞きやすく、研修の内容も充実していたのですが、なにより普段事業所が別々で関わりのない同年代の社員と一緒にグループワークが出来たりしたことが、純粋に楽しかったです。」などのプラスの感想が多くありました。

今後も、一年に一度くらいのペースでこういった研修を実施できればと思います。



管理職マネジメント研修

今年8月に、同じ講師の方より、管理職マネジメント研修を実施しました。今回は業務の都合により3回に分けての実施でした。この研修では、「管理者の役割とスキル」や、「人材育成の理解」、「EQ(行動特性の理解と目標設定)」などについて講義していただきました。

この研修を受けた社員からは、「人的資本育成のための指導も必要だと感じるが、昨今はパワハラ問題が多く取り上げられており、介入しすぎるといけないため、葛藤している。」や、「部下の育成について見直していきたい。」など、部下の育成・指導や部下とのコミュニケーションについて悩む声が多くありました。

今後も各社員の要望に合わせて、様々な研修を年1回～2回程度のペースで実施していこうと考えています。



9

その他の取組

平和建設のBCP

近年、地球温暖化に起因する、大雨による災害や超大型台風による被害が爆発的に増加しています。それに加えて、南海トラフ巨大地震も、40年以内の発生確率が「90%程度」まで引き上げられるなど、自然災害に対する脅威も年々増えています。当社にとって、被災時における事業継続および早期復旧に向けた事前対策を講じることは、顧客の安心の確保、地域経済の早期復興に貢献する上で重要かつ喫緊の課題といえます。

平和建設では有事の際に従業員の安全を確保し、業務の早期再開ができるようにBCPを策定し、現在2つの認証を取得しています。

事業継続力強化計画

事業継続力強化計画とは、中小企業が策定した防災・減災についての事前対策に関する計画を、経済産業大臣が「事業継続力強化計画」として認定する制度です。認定を受けた企業は、税制措置や金融支援、補助金の加点などの支援策が受けられるそうです。



地域建設業の事業継続計画

国土交通省中国地方整備局様より、地域建設業の事業継続計画の認定を頂きました。

災害時においては、被害を受けた交通網、インフラ及びライフラインなどの早期機能回復を図るため、官民一体となった災害応急対策が求められています。中でも道路等の啓開をはじめ被災地での応急復旧作業を担う地域建設業の果たす役割は極めて大きいと言えます。



以上の認証は、引き続き継続・更新の審査を受審し、定期的に見直しを行うことで様々な脅威に耐える事業継続計画の策定を行います。

その他にも、平和建設では現在、「レジリエンス認証」の取得に向けて準備を進めています。レジリエンス認証とは、内閣官房が事業継続に積極的に取り組んでいる企業・団体を「国土強靱化貢献団体」として認証する制度です。その中で、社員の本人情報やご家族との連絡先を記入してもらったり、発災時の行動などについて記載された「災害もしもブック」を作成し、社員に配布しています。

今後もレジリエンス認証の取得に取り組むことで、さらに強靱な事業継続力のある企業を目指してまいります。



10

施工実績のご紹介

土木・建築工事の主な施工例

福山市立西多治米保育所改築土地造成工事



福山市発注の土木一式工事です。2023年度4月を開園予定とした福山市立西多治米保育所改築工事に先立つ、敷地の造成工事となります。JA福山のFUKUYAMAふくふく市の隣に位置する競馬場跡地利用のラストとなる工事カ所で、メインとなる地盤改良工事の他、擁壁工・水路工及び隣接道路の舗装工事も含まれています。

担当者からのコメント

体力的にかなりキツイ現場でしたが、若い方の助力もあってなんとか竣工にこぎつけることができました。

開園予定や後続が決まっている中で、最も気をもんだのはやはり工程管理でした。早い段階から擁壁工を現場打ち→プレキャストに変更する協議をして、どうにか工期内に収めることができました。



工務部土木課 近藤



社会福祉法人まどか すみれ工房新築工事



社会福祉法人まどか様 JKAよりの補助を受けての、念願の自法人施設が竣工となりました。

一般就労が困難な、障害を持たれる成人の方にサービスを提供するB型の就労支援施設となります。3月より本格稼働予定の当施設は、現在のすみれ工房より一部機能を移転しつつ新たな作業項目も追加しての事業拡張となります。

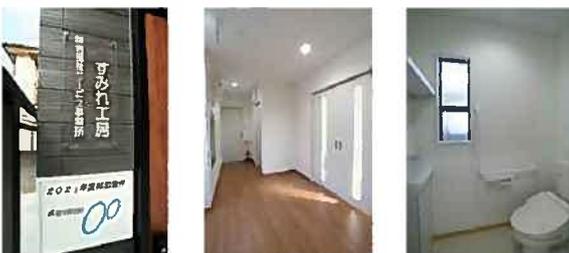
担当者からのコメント

これまでも長くお付き合いさせていただいていた法人様の、悲願の自社施設に携わるといことで自分自身も大変に感慨深いものがありました。

今後まどか様のご発展にあわせ、自分自身も成長していくことができればと思います。



工務部建築課 高月



11

総括

代表者による法規などの見直し

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 ならびに違反・訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	排出事業者、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス、廃油等)
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
浄化槽法	浄化槽(JFE福山事業所のみ)
フロン排出抑制法	業務用空調機、冷凍庫、冷蔵庫
PRTR法	SDS義務のリスク評価(JFE福山事業所のみ)
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反・訴訟等につきましては、安全措置が不適切だったため、2021年2月～2か月間の指名除外処分を受けました。その後は適切に対応しており、関係当局からの違反等の指摘はありません。
 今後も安全管理に一層努力してまいります。

代表者による全体の評価と見直し・指示



代表取締役常務
岡田 一真

2021年度の環境経営目標の達成状況は7項目中4項目で目標達成することが出来ました。
 これもエコアクションの活動が社員一人ひとりに根付き、思考や行動が変化してきている結果だと感じています。
 次年度は全項目の目標が達成出来る様に、原因の把握と改善の検討を行い、活動を推進します。
 改善出来た点としては、新たな地域貢献活動を継続して出来ている事と、レポートの見せ方や伝え方についてもレポートが人目に触れる機会を増やし、様々な意見を頂く事でブラッシュアップ出来ました。
 今後も環境経営を推進して、社会の変化に柔軟対応できる組織を実現してまいります。

- | | | |
|-----------|-------------------------------|--|
| 環境経営方針 | <input type="checkbox"/> 変更あり | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし |
| 環境経営目標・計画 | <input type="checkbox"/> 変更あり | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし |
| 実施体制 | <input type="checkbox"/> 変更あり | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし |

編集後記

入社4年目になる今年度は、昨年よりも携わる業務も増えていく中で、それぞれの業務がEA21の活動や持続可能な活動とどう紐づいていくかなどを考えながら、業務に取り組むことができました。また、レポートの見せ方にも創意工夫を重ね、レポートを見た方が分かりやすいと思えるようにするにはどうすればいいかを第一に考えながら作成しました。その中で、改めて平和建設が取り組んでいる活動は、何がきっかけで始め、どんな想いをもって続けているのか、自分の中で理解を深めることもできました。

来年度以降も積極的に会社が取り組んでいる活動に参加し、よりEA21などへの理解を深められる一年にしていきます！



サステナブル事業部
三好 清人

平和を願う設立理念が社名の建設会社



EA21の2017年版改定に伴い、弊社の環境経営レポートの名称を「サステナピースレポート」とし、1949年に戦後の平和復興を願って岡田組から平和建設へ改名した当時の経営者たちの平和(ピース)への願いを込めました。

そして、国内でもSDGsの浸透やESG投資の広がる中で、200年企業を目指す平和建設らしい環境経営の取組をすることで、さらなる企業価値の向上につなげていきます。



平和建設の富マークは、1949年に岡田組と栗村組が合併し、平和建設株式会社が設立された当時の代表取締役である、岡田富之助の名前から頂いたものです。



Sustainapeace
Report 2021



〒720-0822

広島県福山市川口町一丁目16番35号

TEL：084-953-2711 FAX：084-954-3783

URL：www.heiwakensetsu.co.jp